

定例市長記者会見録

日 時：5月25日(火) 午後1時～1時30分

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 朝日新聞、中日新聞、読売新聞、中部経済新聞、毎日新聞、共同通信

本日の案件は2つです。

1番目は「国際芸術祭「あいち2022」一宮市で開催」です。「あいちトリエンナーレ」の後継版となりますが、来年7月30日から10月10日までの73日間で開催されます。会場は愛知芸術文化センターを中心に、サテライト会場として本市と常滑市、名古屋市有松地区が選出されました。愛知県からは、地場産業が盛んな地域に協力依頼があり、繊維産業や歴史、伝統文化などの本市の魅力を伝えてほしいと依頼を受けています。現代美術が持つ力で、この地域が元気になり、地域の魅力を再発見してもらえようという機会にしたいと考えています。これまで、平成28年度のモバイルトリエンナーレでは来場者が約1,400人、平成30年度のあいちトリエンナーレ地域展開事業では来場者が約40,000人ありましたが、芸術祭本展としての開催は、本市では「あいち2022」が初めてとなります。

2番目は「令和3年度6月補正予算(案)に計上された主な事業」です。

No.1「在宅避難用簡易トイレの配付」

大雨による避難時、避難所に大勢の方が集まることで発生する密を避けるため「垂直避難」を呼びかけています。そうした在宅避難の際に使用可能な簡易トイレを、1,000世帯にモニターとして配布し、アンケートを実施します。

No.2「宅配ボックスの設置への補助」

大変好評をいただいている事業です。宅配受取時の感染リスクの低減と、再配達を減らして二酸化炭素削減や交通安全対策のため追加予算を計上し、予定件数を合計100件に増やします。

No.3「高齢者施設等の職員への週1回のスクリーニング検査」

高齢者施設等でのクラスター発生の再発防止のため、施設で働く職員へ週1回、スクリーニング検査を実施します。1億5,900万円ほど予算計上し、国からも2分1補助を受けます。

No.4「ワクチン配送等業務の委託」

一宮市医師会のご尽力により、市内で多くの開業医の皆さまにワクチン接種のご協力をいただいています。そのため、ワクチンの保管・受注・仕分けを含む配送業務をきめ細かく実施する必要がありますので、1億6,000万円ほど予算計上し、対応いたします。

No.5「経済対策事業」

1つ目は「キャッシュレス決済ポイント還元事業委託料」です。昨年度にPayPayでの10%ポイント還元を実施しましたが、大変好評でしたので再度実施します。今回は決済業者を3

社に増やし、期間も1カ月間を2回に分けた合計2カ月間、実施します。予算計上は4億1,400万円です。

2つ目は「商工団体等事業補助金」です。商工団体等が七夕まつりイベントを実施する際、これまでの補助率は35%でしたが、これを50%へ引き上げます。

3つ目は「経営力向上支援補助金」です。企業において、社員の皆さんにデジタル化に向けてスキルアップのための研修を受講する機会が増えているとのことで、研修費用の一部を補助します。

No. 6 「高齢者安全運転支援装置の設置への補助」

自動車に、あと付けする急発進等抑制装置の設置に対する補助金です。昨年度に引き続き実施します。

No. 7 「自転車ヘルメット購入への補助」

昨年度は市単独事業でしたが、今年度は県の補助事業となりました。自転車事故による負傷者の割合が高い7歳以上18歳以下の児童生徒等と、死者の割合が高い65歳以上の高齢者を対象とし、ヘルメット購入時に補助を行います。

No. 8 「アイプラザ一宮講堂の調光設備の更新」

アイプラザ一宮講堂の調光設備が老朽化しております。600人ほど収容が可能な重要な施設ですので、5,600万円ほど予算計上して更新するものです。

No. 9 「東京2020米国ホストタウン運営事業」

東京2020パラリンピックでは、本市はアメリカ合衆国のホストタウンとなっています。8月中旬から女子シッティングバレーボール代表チームの事前キャンプを受け入れ、競技終了後に交流事業を行う予定です。大会が無事に終了することを願うばかりですが、3,400万円ほど予算計上いたします。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

一宮市議会6月定例会

■高齢者施設等の職員への週1回のスクリーニング検査

(記者) すべての施設で実施するのですか？

(市長) すべての施設を予定しています。

■東京2020米国ホストタウン運営事業

(記者) 全国の自治体で、ホストタウンの取りやめが相次いで発表されていますが、取りやめの話は出ていますか？

(市長) 出ていません。取りやめる多くの自治体は、オリンピックの事前キャンプの交流事業についてです。我々はパラリンピック後で、交流事業を9月に予定しています。

予定どおり事前キャンプ時に交流ができれば良いですが、できない場合でも練習風景をオンラインで視聴してもらうなど工夫したいと思います。

■新型コロナ関連

(記者) 現在発生している市内のクラスターの内、一つが高齢者施設です。これまで市は、高齢者を優先にワクチン接種を進めてきましたが、高齢者施設で発生しました。これは、どのように受け止められていますか？

(市長) 現場で働いている皆さんは、苦勞してコロナ対策をして仕事をされていると思います。それでも、身の回りの世話をされるなかで、広がってしまったと受け止めています。現時点では、一つ一つ丁寧に対処していくしかないと考えています。感染拡大を防ぐには、やはりワクチンだと思います。国のガイドラインに従い、まずは高齢者への接種を早く終わらせられるように、スピードアップを図り頑張っています。

(記者) 高齢者施設の感染者は、病院へ移すことができていないのでしょうか？市内の空病床数の状況、また病床数を増やしているのですか？

(市長) 入院が必要な方は、病院へ移していると聞いています。一宮市の病床使用の状況は、ひっ迫する手前の状況で推移していると認識しています。大村知事の旗振りで、県全体で 300 病床を増やしていただける見込みが付き、現在、増やしている途中です。

(記者) 現在、2つの病院でクラスターが発生してまだ収束していませんが、現在、一般の病院からの搬送も含め、救急搬送に支障は出ていないですか？

(市長) いまのところ、そういった報告は受けていません。

(記者) 2つの病院のうち1つの病院では、救急搬送と紹介患者の受け入れを停止しているということですが、市内の病院で、他の患者さんへの医療行為で支障は出ているのでしょうか？

(市長) 市内には大規模病院の数も多いので、お互いが助け合うことで支障が出ていないとみています。

(記者) 大阪の保健所で過労死ラインの 80 時間を越えている職員数が約 3 割との報道がありました。一宮市も 4 月から中核市となり保健所を持つことになりましたが、4 月の残業時間で過労死ラインを越えている職員はいますか？

(市長) 4 月の 1 カ月だけで、数名いると報告を受けています。

(記者) 職員の異動で、新型コロナワクチン接種推進室の増員をしていますが、今後も職員の異動で対応するのですか？

(市長) 保健所の応援のために派遣した一般職員は 6 名です。7 月以降、64 歳以下の方へのワクチン接種について、現在の体制では破綻してしまうので、市で大規模な会場を準備する必要もあります。そのため順次、職員の異動で増員をしていきます。

(記者) 大規模な接種会場を設けるのは、高齢者の接種が終わって、64 歳以下の基礎疾患

をお持ちの方が対象になる時期からですか？

(市長) そうです。高齢者への接種が終了して、次の接種対象者になると、現在の行っている体制では対応できなくなると思います。現役世代は、平日の日中に移動して接種するのは難しいと考えています。平日の夜や日曜日の接種を考える必要があるため行政で大規模な接種会場を用意するよう話をしており、長期で使用できる会場を探しています。

■ 中学生自死事案に関する審理について

(記者) 前回の定例記者会見から今日までに、和解協議が一度行われていますが、和解の方針に変わりないでしょうか？

(市長) 変わりありません。お互いが合意できるように、いい意味で向き合って協議していると認識しています。